

2026年9月期第2四半期決算説明資料

株式会社フォーシーズHD

証券コード：3726スタンダード市場



1. 事業概要

2. 2026年9月期第二四半期決算概要

3. 各事業の取組みと進捗について



当社グループは、お客様（Customer）を創造（Creation）し、
大切（Cherish）にし、社会貢献（Contribution）します。

会社名	株式会社フォーシーズHD
設立	2003年12月5日
事業内容	通販事業／卸売事業／リテール事業／コンサルティング事業
所在地	本社：福岡市中央区薬院1-1-1 東京支社：東京都港区虎ノ門4-1-10
代表者	代表取締役社長 松野博彦
資本金	19億4,575万円(2025年9月30日時点)
決算期	9月30日
株式市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード：3726)
グループ会社	株式会社HACCPジャパン、株式会社 i i y、 ファンタスティックフォー第1号合同会社、株式会社MIRAISE
従業員数	127名(連結) (2025年9月30日時点／パート・アルバイト含む)



当社グループ

通販事業

リテール事業

卸売事業

コンサルティング事業

株式会社フォーシーズHD

化粧品

FAVORINA

FINE VISUAL
Natural & Beautiful Impact

ANYTHING
WHITE

Cure

ヘアケア商品

Larét

アロマ関連商品

AROMA BLOOM
THE STORE OF RELAXATION GOODS & GIFTS

株式会社 i i y

Charm

MAKE BODY

株式会社
MIRAISE

WHITE SANDS BLACK SANDS

自社コールセンター



EC



DENBAラウンジ
Aroma Bloom店舗



toBtoC



海外

株式会社フォーシーズHD

ファンタスティックフォー第1号合同会社

- ・太陽光発電に関するコンサルティング
- ・系統用蓄電池事業

株式会社HACCPジャパン

- ・食品衛生コンサルティング
- ・検査事業
- ・衛生に関する製品販売

toB



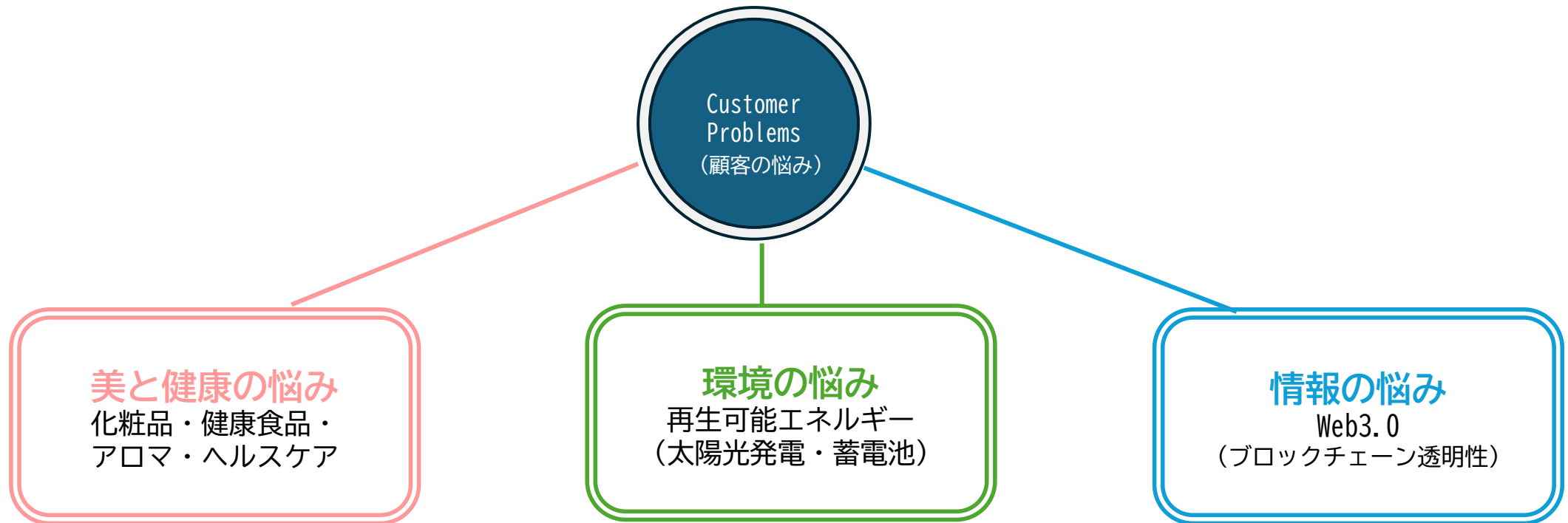
国内消費者

国内企業



お悩み解決型企业としての進化

「はずむライフスタイルを提供し人々を幸せにする」



当社は化粧品会社ではありません。
顧客のお悩みに寄り添い、解決策を提供するプラットフォームです。



2. 2026年9月期第2四半期決算概要



エグゼクティブ・サマリー

01

事業構造改革を推進

リテール事業において、既存店舗の「DENBAラウンジ」への転換を推進。移行に伴う一時的な出店コストや売上減少は発生しているが、中長期的な収益性向上に向けた事業基盤の再構築中

02

通販・卸売事業は堅調

通販事業および卸売事業では、前年同期比では減益となったものの、引き続きセグメント利益を計上し、グループの収益基盤として機能。

03

太陽光発電所・系統用蓄電所の売却交渉を継続

コンサルティング事業では、太陽光発電所・系統用蓄電所案件について収益最大化を目的として複数社との売却交渉を継続。

04

中長期成長に向けた先行投資を継続

事業譲受に伴うのれん償却費や業務委託費、上場維持費用、資本政策関連費用等を計上しており、中長期成長に向けた先行投資を継続。



ハイライト

(単位：百万円)	2025/9月期 2Q	2026/9月期 2Q	前年同期比
売上高	1,190	1,032	△13.2%
営業利益 (△)	△73	△273※	—
経常利益 (△)	△72	△336	—
親会社に帰属する 四半期純利益 (△)	△58	△349	—

※営業損失の詳細については次ページで説明

通販事業、卸売事業は継続的に黒字となった一方、 以下要因により、戦略的投資コスト増

■コンサル事業

太陽光売却案件については、継続交渉の影響により、3月成約予定案件の売上計上時期が4月売上計上確定。一方、のれん償却や業務委託費等の一時費用は上期で終了しており、下期以降の収益改善を見込む。

■リテール事業

3店舗のDENBAラウンジへの転換に伴う広告宣伝・内装工事・人材教育等の先行投資に加え、改装期間中の一時休業影響により、売上が一時的に低下。

■全社

第三者割当増資によるFA費用等の一時的な資本政策関連費用等による管理部門コスト増加。

営業赤字内訳のうち、一過性、戦略的なものの要因

・リテール部門における店舗撤退/業態変更による戦略的赤字	155M
・株主優待引当金	20.2M
・新規事業立上げによる戦略的赤字	23M
・再エネ関連事業におけるのれん償却および業務委託費等	40M
・DENBAにかかる広告宣伝費	18M
・経営体制再編関連費用	7.7M
・合計	263.9M



ハイライト②

- 通販事業及び卸売事業は継続黒字(両事業のセグメント利益合計+101M)
- 4事業合計でもセグメント黒字(+14M)を維持
- 一方、営業損失の主因は、戦略的、先行投資及び一時的なコストが多くを占める
以下主な要因を掲載
 1. リテール事業における店舗撤退(8店舗→7店舗)、及び既存のアロマブルーム事業からDENBAラウンジへの事業展開による戦略的赤字
 2. 再エネ関連事業におけるのれん償却および業務委託費等
 3. 新規事業立ち上げによる戦略的赤字
 4. DENBAにまつわる先行投資
 5. 株主優待引当金、経営体制再編関連費用等の一時的費用

⇒前ページ記載の通り、1-5までの合計値は**263.9M**であり、進行期の営業損失△273Mから差し引くと調整後営業損失は**△9.1M**となる。
- なお、広告投資・リテール事業転換費用は先行投資／一時費用の側面が強く、下期以降は利益改善を見込む。
- また通販事業・卸売事業などの既存主力事業の収益基盤は継続的に成長しており、戦略投資一巡後の収益改善フェーズへの移行を見込む。



損益計算書

（単位：千円）

	【連結】 2025年9月期2Q	【連結】 2026年9月期2Q	対前年対比増減
売上高	1,190,226	1,032,914	△157,312
売上総利益	776,746	702,576	△74,170
販売費及び一般管理費	850,644	976,186	125,542
営業利益（△）	△73,898	△273,609	△199,711
経常利益（△）	△72,090	△336,006	△263,916
親会社株主に帰属する 中間純利益（△）	△58,873	△349,197	△290,324



貸借対照表

（単位：千円）

	【連結】 2025年9月期	【連結】 2026年9月期2Q	対前年対比増減
流動資産	2,600,484	2,732,528	132,044
現金及び預金	439,054	612,045	172,991
固定資産	386,228	365,030	△21,198
有形固定資産	13,034	45,121	32,087
無形固定資産	312,483	265,289	△47,194
投資その他の資産	60,711	54,620	△6,091
資産合計	2,986,712	3,097,558	110,846



貸借対照表

	【連結】 2025年9月期	【連結】 2026年9月期2Q	対前年対比増減
負債合計	1,327,936	987,792	△340,144
流動負債	1,092,778	803,879	△288,899
固定負債	235,158	183,913	△51,245
純資産合計	1,658,776	2,109,766	450,990
株主資本	1,644,588	2,095,711	451,123
新株予約権	14,188	14,054	△134
負債純資産合計	2,986,712	3,097,558	110,846



セグメント別売上高

（単位：千円）

	2025年9月期2Q		2026年9月期2Q		対前年同期比 増減
	実績	構成比	実績	構成比	
通販事業	585,780	49.2%	609,666	59.0%	23,886
卸売事業	317,725	26.7%	273,528	26.5%	△44,197
リテール事業	273,524	23.0%	142,661	13.8%	△130,863
コンサルティング事業	13,195	1.1%	7,255	0.7%	△5,940
調整	2	—	△196	—	△198
合計	1,190,226		1,032,914	100%	△157,312



セグメント別営業利益及び損失

（単位：千円）

	2025年9月期2Q	2026年9月期2Q	対前年同期比 増減
	実績	実績	
通販事業	83,987	73,862	△10,125
卸売事業	105,025	36,821	△68,204
リテール事業	△12,860	△51,282	△38,422
コンサルティング事業	△60,155	△45,051	15,104
調整	△189,895	△287,959	△98,064
合計	△73,898	△273,609	△199,711



3. 各事業の取組みと進捗について

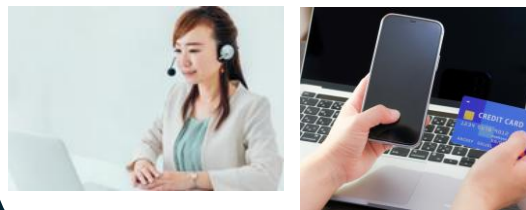
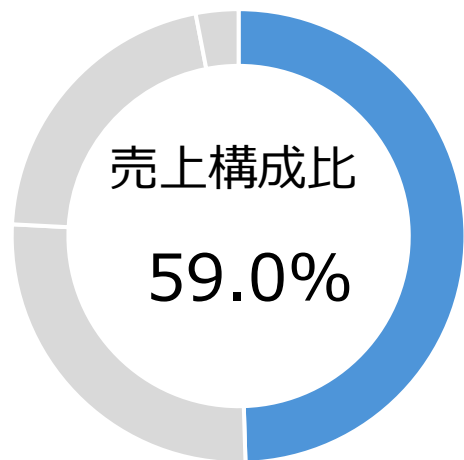


化粧品・健康食品、アロマ関連商品の販売

衛生・環境のコンサルティング

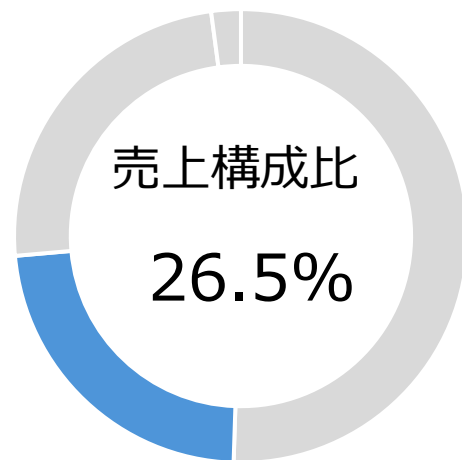
通販事業

電話オペレーター販売
EC販売



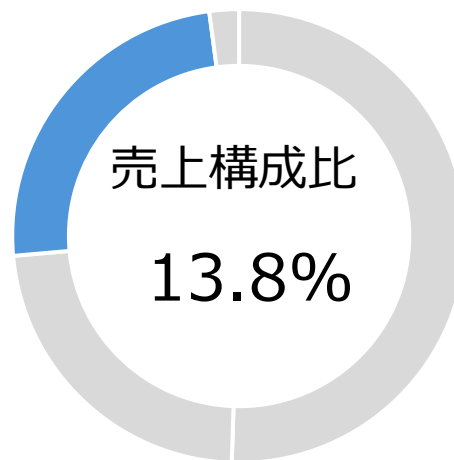
卸売事業

国内卸
海外卸



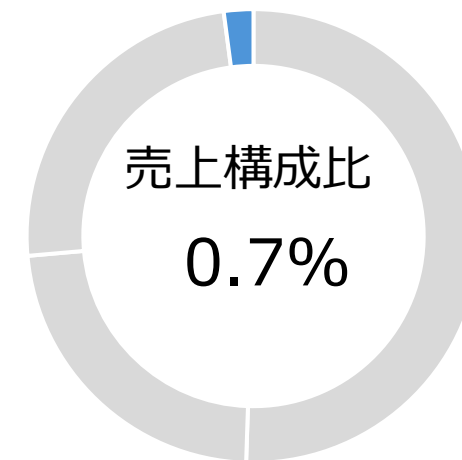
リテール事業

AROMA BLOOM
直営店舗の運営



コンサルティング事業

太陽光発電事業衛生に関わる事
業に関するコンサルティング

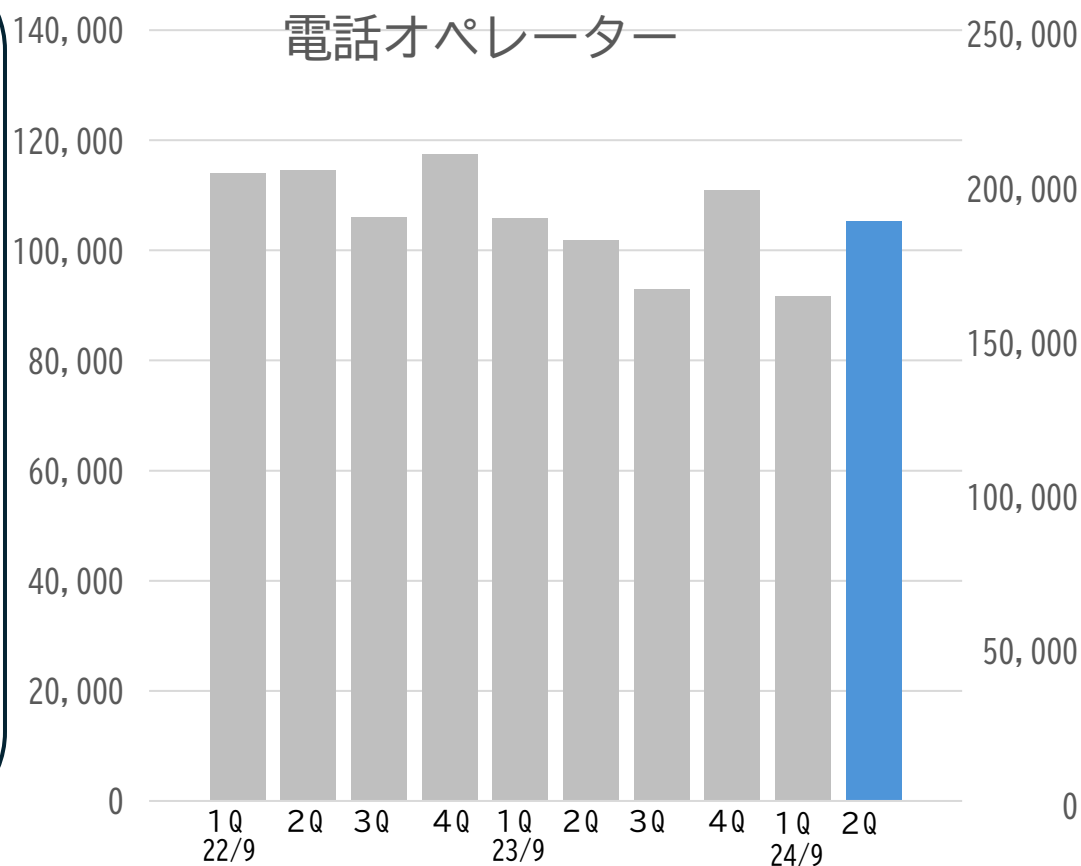
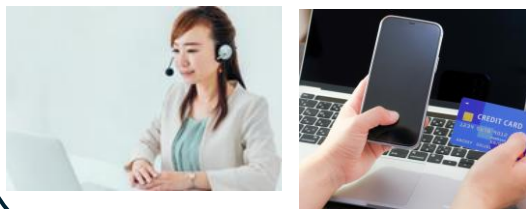


- ・通販事業は売上構成の約59%を占め、主力セグメントとなっている。
- ・電話オペレーター販売はリピート顧客及び掘り起し顧客へのアプローチを徹底実施。
- ・EC販売は継続成長を維持しており、直近でも拡大が続いている。
- ・子会社のiiyの売上は前年同期比2.7億円 ⇒ **3.2億円**へと堅調推移。

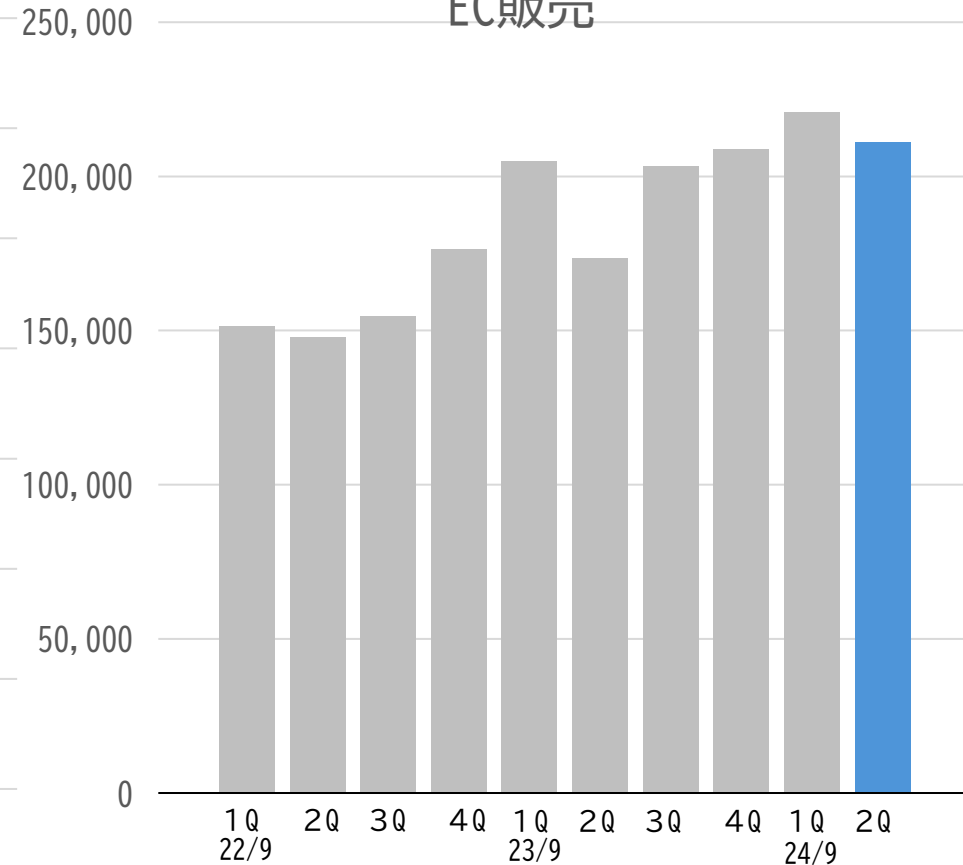
通販事業

電話オペレーター販売
EC販売

売上構成比
59.0%



EC販売



TOPICS

- TVインフォーマーシャルを3月より0A！

DENBAテクノロジーや製品を紹介する30分番組「DENBA その秘密教えます」の放送を開始。曜日や時間帯問わず、多くの皆様にご覧いただけるよう、これから放送エリアも拡大中。

番組をご覧いただいた方はもちろん、まだご覧いただけていない方も「DENBA」を詳しく知ることができるよう、資料請求やお問合せ窓口も増設中！



- 国内最大級ライブコマースチャンネル「ぞうねこちゃんねる」にて当社子会社の（株）iiyが提供する「CHARM MAKE BODY」のブラジャーがわずか5分で販売予定数完売！



吸水サニタリーショーツ「雲パンツ」

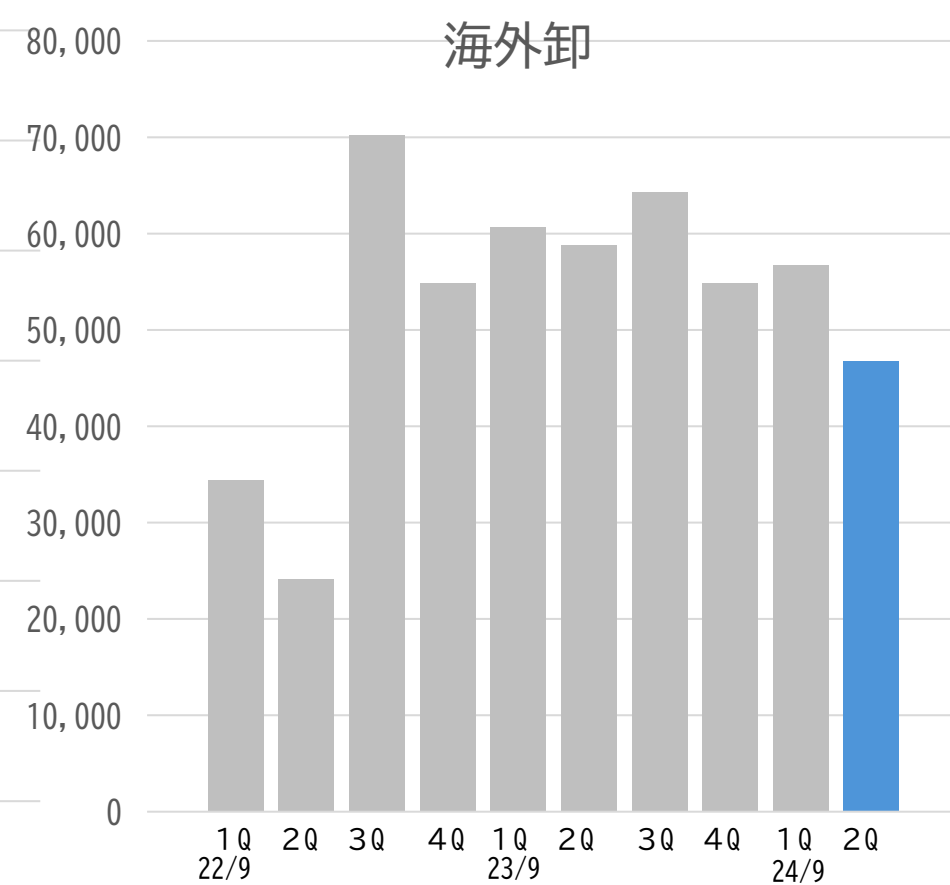
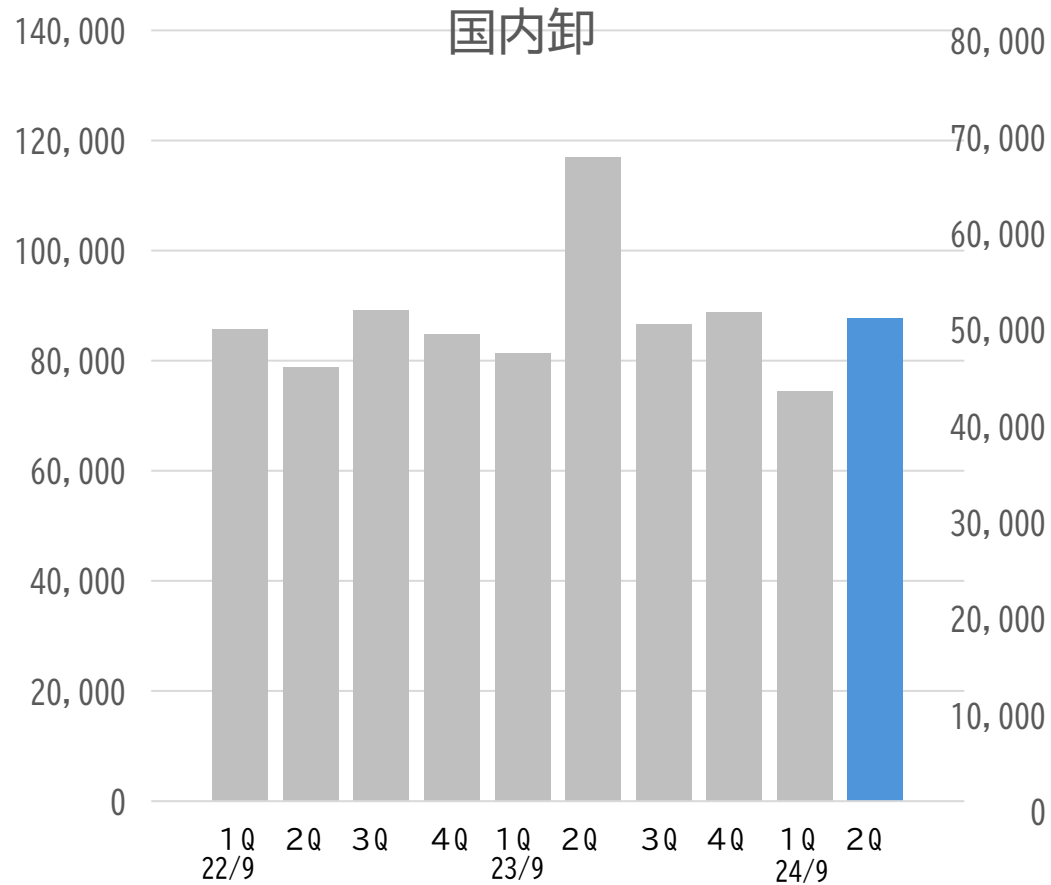
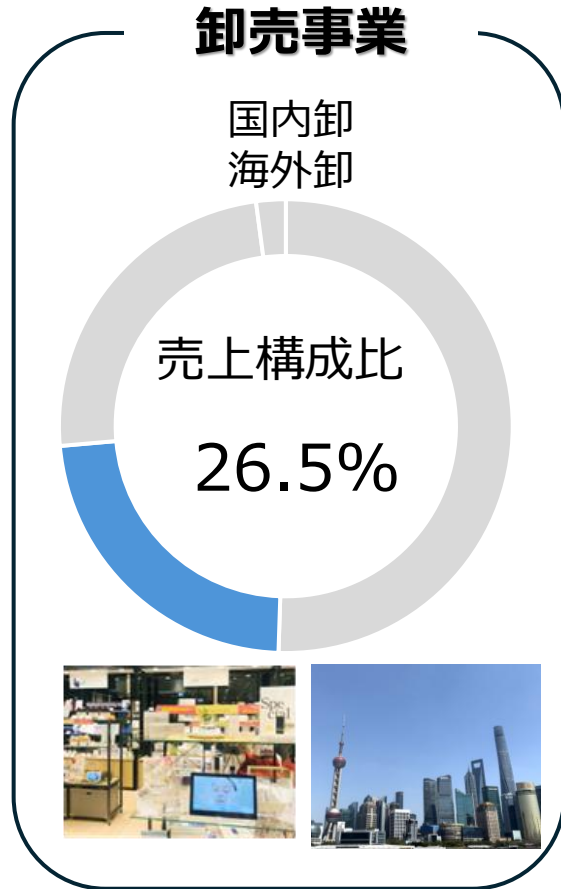
下着の専門家が1年以上かけて開発

2026年4月8日(水)に発売予定



2026年9月期第2四半期決算（卸売事業） 化粧品・健康食品、アロマ関連商品・DENBA製品の販売

国内卸は、政治緊張による訪日需要動向等の外部環境影響により、国内インバウンド関連売上が一時的に落ち込むも、いち早く販路拡大・市場開拓等の先行投資を継続しており、2026年3月以降の売上回復を見込む。海外卸は堅調に推移。



TOPICS

① ナチュラルアクアジェル 累計500万本、125億円販売額突破

2015年の販売以来、ご愛顧され続けて16年。
長年わたり支持されているロングセラー商品。

水ベースのやさしいジェルで、古い角質やくすみを
すっきりオフ。

国内人気にとどまらず、海外でも販売拡大中



② 中国EC大手「京東（JD.com）」 越境ECプラットフォームで販売好調

- ・2025年10月より「CURE海外自営旗艦店」を開設
- ・追加受注が複数回発生するなど、販売は堅調に推移



③ アクアジェルミルク 2026年4月20日(月)販売 20～30代の毛穴悩みにアプローチした新商 品がついにロンチ



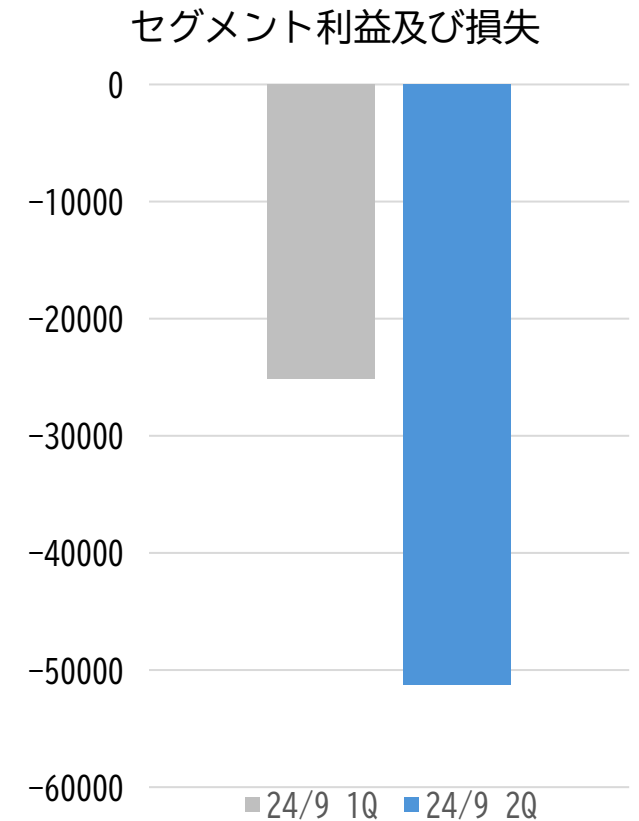
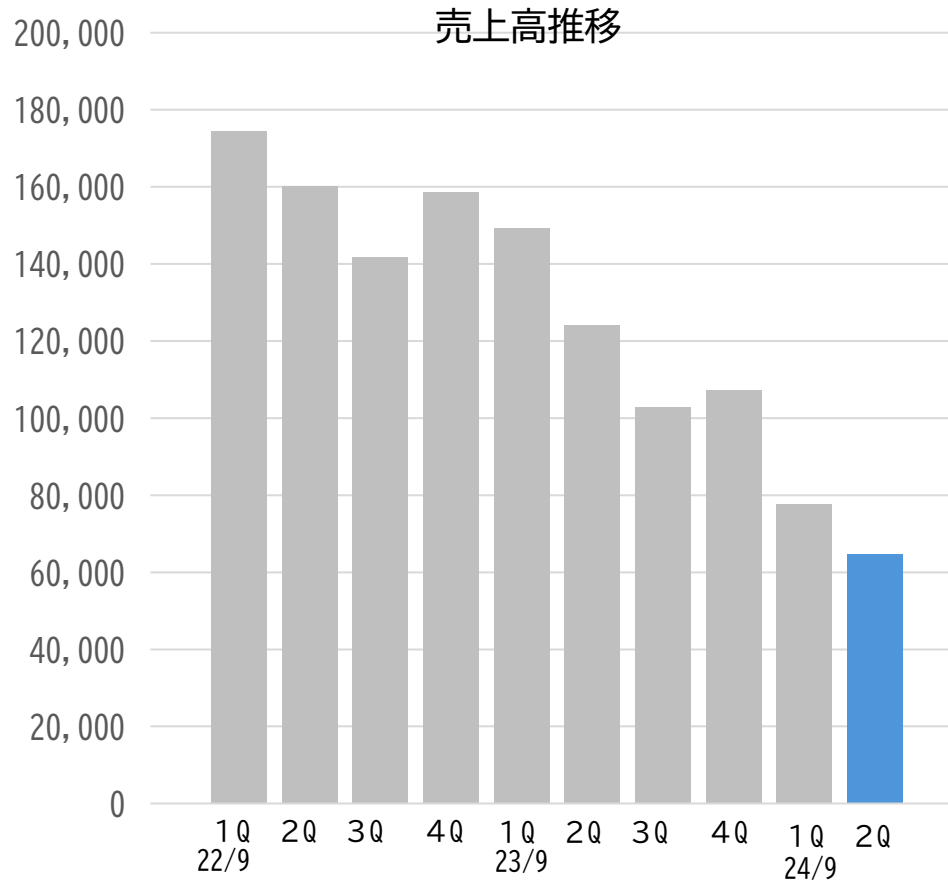
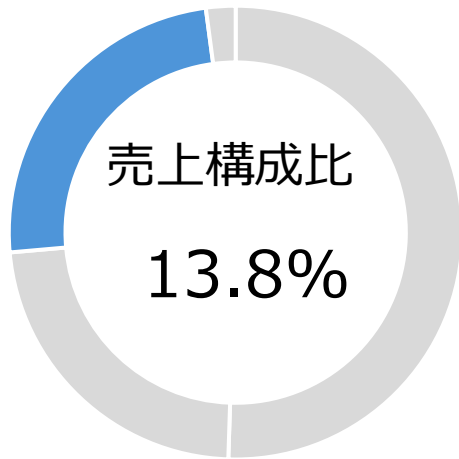
2026年9月期第2四半期決算（リテール事業） アロマ関連商品・DENBA製品、化粧品の販売

- DENBAラウンジへの業態転換に伴い、広告宣伝費・内装工事費・人材教育費等の先行投資を実施したほか、改装期間中の一時休業影響により売上が一時的に低下。
- 一方、サブスクリプションモデル導入による継続来店の増加に加え、フランチャイズ展開もスタート。
- 浦和美園店はスタートして3か月で早くも単月ベースで黒字に転換。

リテール事業

DENBAラウンジ3店舗
AROMA BLOOM4店舗

※2026年4月末時点（新浦安店含む）



TOPICS

ファイテンとのコラボ商品
第3弾「リカバリーウェア」
販売計画比200%超で推移！！

フード付きプルオーバー：計画比203%
ロングパンツ：計画比147%



海外でも話題の「メタックスアロマティックローション」
「ファイテン ハワイ店」に続き「ラスベガス店」でも販売開始！



Phiten Las Vegas Decatur Shop



メタックスアロマティックローション

「DENBAラウンジ」新浦安店 4月25日オープン！！

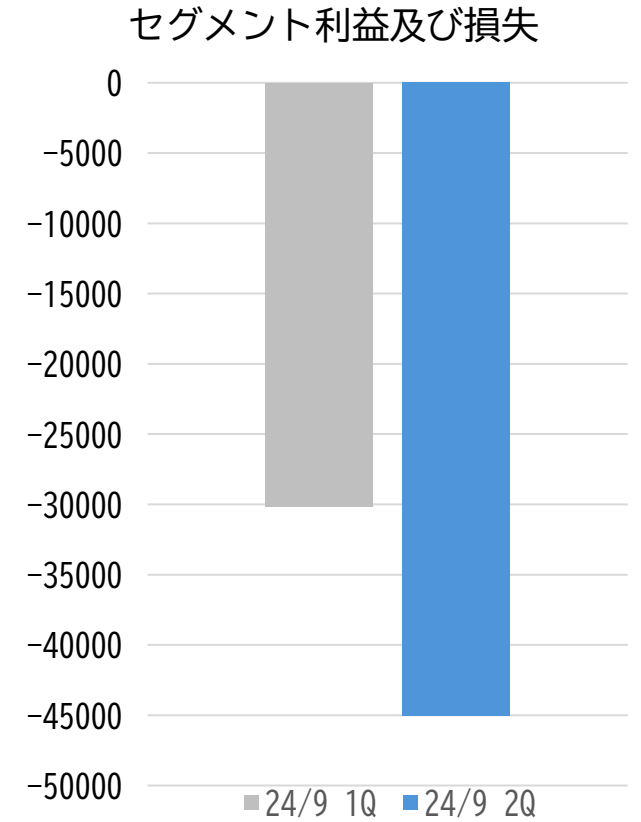
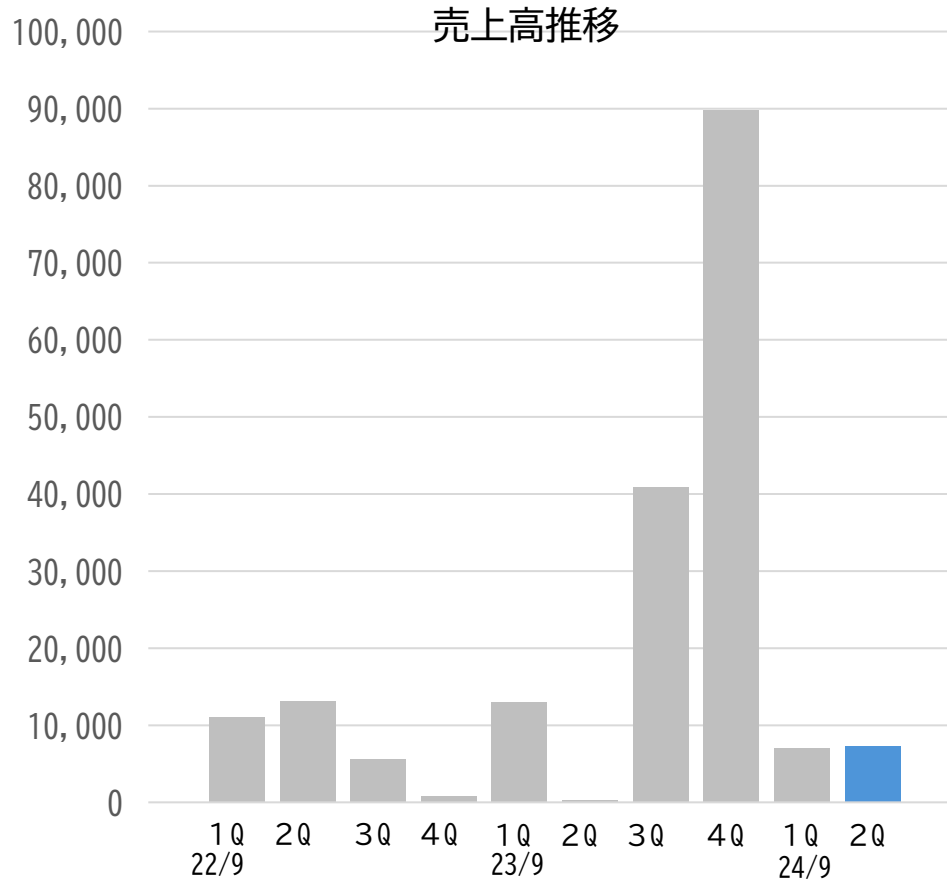
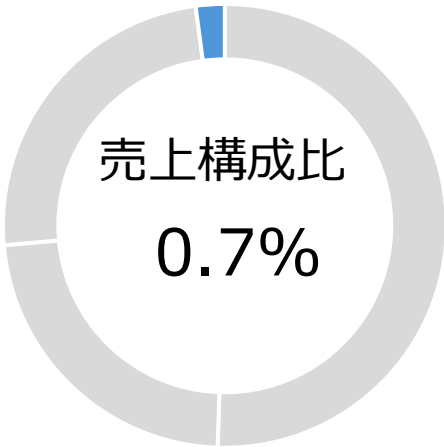
- ・ 経堂店、浦和美園店に続く3店舗目
- ・ DENBA空間によるリラックス環境をご体感いただけます。
- ・ この機会にぜひ「DENBA」をご体験ください！

2026年9月期第2四半期決算（コンサルティング事業） **主に太陽光発電設備の販売 （設備設置等に係るコンサルティングを含む）**

当第2四半期期間においては成約には至らなかったものの、複数社との売却交渉を継続しており、第3四半期期間において複数案件の成約見込。なお、3月成約予定であった案件については4月にずれ込んだものの、既に1件は成約済み。

コンサルティング事業

太陽光発電事業
衛生に関わる事業に
関するコンサルティング





TOPICS

太陽光発電所の土地利用権 低圧180物件、高圧6物件取得

【進捗状況】

2025年9月期までに低圧53物件、高圧4物件のコンサルティング契約締結済
残低圧127物件、高圧2物件は集積最大化を図るため複数の業者と売却交渉中

太陽光発電（Solar Power）

- Non-FIT太陽光発電所の土地利用権を取得・開発。

蓄電池事業（Grid Storage）

- 系統用蓄電所への参入。プロジェクト・ファンド組成やコンサルティング業務による収益化。

→ Value: ストック型ビジネスによる長期的かつ安定的なキャッシュフローの創出。

